

# NTR

強い雄のチ○ポに

性処理要員として  
弄ばれてる彼女





**[NTR]彼女がアイツの性処理に使われてるはずがない**

ウチの学校の  
体育教師には  
ウワサがある…

学園中でかわいいと評判の  
女の子達をはばらせて  
ハーレムを作っている  
というウワサ…



圧倒的なビジュアルで  
男女問わずたくさんのファンを抱える  
生徒会長…

その後  
生徒会長の胸元には…  
白い液体がわずかに  
残っていたとか  
いないとか…

その生徒会長が休み時間に  
体育教師と二人で  
体育倉庫に消えていったところを  
見た人がいるとかいないとか…

通してくれる？

運ぶものあるから…



いや…ただのウワサだ

そんなことするわけない…

みんなの憧れの生徒会長が…  
休み時間に隠れて  
体育教師にパイズリだなんて…

はぁ♡

はぁ♡

もう…だめなんですからね  
隠れてこんなことっ…

はぁ♡

はぁ♡

たぷ♡

たぷ♡

スリ♡

すぢゅ♡

すぢゅ♡

スリ♡

そんなことより  
僕の関心事は…

僕の彼女である  
ユイカが…

僕のはじめでの  
彼女であるユイカ…

前からずっとかわいいと思っていただけ  
たまたま同じ図書委員になってから  
話す機会ができて…

その体育教師の毒牙に  
かかってはいないかということ…

二人で一緒に帰ったり…  
本の貸し借りとかをして…  
仲良くなってきた頃…  
勇気を出して僕から告白して付き合った…



初めて手を繋いだ時…  
それだけで心臓が張り裂けそうなほど  
緊張した…

女の子と触れ合うなんて  
たぶん初めてだったから…

正直…めっちゃくちや勃起した…

これだけでこんなに硬くなっていたら…  
おっぱいなんて触ったときには  
どうなっちゃうんだと思った…

ユイカは僕がそんなこと  
考えてるなんて  
想像できてなかったはずだ…

ユイカにはそういう  
ところがある…

自分に不埒な視線が  
向けられてるなんて  
少しも思わないところ…

だからこそ…  
僕が他の男から守らないと…

あーやっべ…  
やわらけ…

すべすべで  
吸い付いてくる…

あ…  
あの…

先生…?

これって本当に…  
授業なんですすよね…?

ん？ああ  
授業授業

初めての彼氏と  
エッチするための心構えを  
相談できる人探してたんだろ？  
生徒会長から聞いたよ

だから男と  
エッチするために  
必要なこと  
オレが教えてやっから  
な？

んっ…  
あ…はい…



彼氏くんより先に…  
デカ乳いただき  
まゝすっ…

ビクッ  
ビクッ  
ビクッ

は  
むっ♡

ちよっ…  
ちよつと先生…!?

そんなっ…  
聞いてないっ…

ちゅる  
ちゅる♡

あ？  
男に初めてしゃぶられたときに  
恥ずかしがってジタバタ動いてたら  
相手に悪いだろ？  
だからその練習だよっ…オラッ…

ビクッ  
ビクッ

あんっ…♡

はっ…はあい…

べっ…

ちよっ…

そしてついに…  
僕とユイカが初めてお互いの身体を  
重ね合わせるどきがきた…

はあ

はあ

正直ユイカの身体を見たら…

はあ

はあ

たぶん♡

恋愛感情よりも  
性欲が爆発しそうで…押し殺すのに必死だった…

最初にキスをしたとき…  
僕はたぶん緊張で唇まで  
震えてたと思う…

ちゅ♡

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

たぶん♡

それに比べてユイカは…  
どことなく  
手慣れてたような…  
いま思えば…  
このときから  
軽い違和感があった…

ちゅ♡

ちゅ♡



そしてユイカが…  
僕のチンポを…  
な…舐めてくれる…

フェ…フェラチオをっ…  
してくれる…  
ことになったんだけど…

そのときの…  
チンポを待ち構える顔が…  
あまりにもエロくって…

はぁ…

別人を見てるようで…

あれ…?

ユイカってこんな顔ができる女の子だったっけ…?

僕と同じように…エッチなことに対して…

奥手かとおもってたんだけど…

はぁ…





先生...  
に... 苦いです...  
それに少し臭い...

そうそう  
最初はゆっくりで  
いいからね〜

あゝ男のチンポって  
そういうもんだから  
少しずつ覚えていこうね〜  
彼氏のためだよ



口が...  
大きく開かないですっ...

あゝ慣れれば  
大丈夫だから!  
ほらだんだんスピード  
早くしてこうね〜

はア?

はア?

はア?

はア?

はア?

はア?



え…？

ユイカ…本当に…  
は…初めて…？



チンポの裏筋とか…  
気持ちいいところを  
把握してるとしか思えない舌の動き…  
僕がイキそうになると…  
偶然なのか…  
チンポをしゃぶる早さが  
変わって…

まるで長く楽しませる為に  
スピード調整してくれる  
かのよう…

ユイカが僕のチンポを  
しゃぶっている  
という非現実的な光景に

頭が沸騰しそうになりながら…  
頭の片隅で疑念が湧いていた…

気持ちいいの...  
気持ちいいの...なんでも...

あぁだめだつ...  
でるっ...でるっ...

出るっ...  
出ちゃう  
よおっ...

んっ♡  
んっ♡

んっ♡

じゅぽ♡

じゅぽ♡

ハァッ  
ハァッ  
ハァッ  
ハァッ  
ハァッ  
ハァッ

ハァッ  
ハァッ  
ハァッ

じゅぽ♡

じゅぽ♡

ユイカ...フヒラ...  
何で...  
何でこんな...上手すぎ...

体勢変えてもっ...  
チンポじゃぶるの上手すぎ...

っ♡...

ゴク  
ゴク

の...飲んでるし...  
躊躇いなく...

あ...あのさ  
ユイカ...

じゅぽ♡  
じゅぽ♡  
じゅぽ♡

ど…どうしてそんなに  
上手いの…?  
ふえ…フェラチオ…

上手かった…かな!?  
なら…よかった…!!

あのっ…えっと…  
練習…してて…  
実は…

えっと…  
ち…チンポの模型…って  
あるよね…あれを…  
実は買って…練習してて…

えっ!?

ド  
キ

も…模型…?  
買ったの…?  
ど…どこで…

えっと…  
ね…ネットで…

もし…  
フェラチオするときには…  
絶対に気持ちよく  
してあげたかったし…

ネットでやり方とか…  
おちんぼの気持ちいいトコとか  
勉強して…

口の中でイカせてあげて…  
ごっくんしてあげようと思っただから…  
へ…変だったかな?

い…いや  
そんなことは…

スラスラと淫語が  
口から出るユイカをみて…  
僕は本当に…  
「ユイカはただのどスケベ  
だったんだ」と思った…

ほう…  
はふはいほほはっはんへふほ…  
(もう…危ないとこだったんですよ…)

ちゅば

ちゅ…♡

ハア…

ハア…

ハア…

ハア…

ハア…

ビクッ  
ビクッ

フェラチオ  
上手すぎて…  
バレるとこ  
だったんですから…  
先生のせい  
ですよ…?

バラせば  
いーじゃん  
先生のおちんぽ  
くわえてまゝす  
って

もう!  
そんなこと  
できるわけ…

じゃあなんで  
いまもこうやって  
チンポ啜えに  
来ちゃってる  
のかな?!

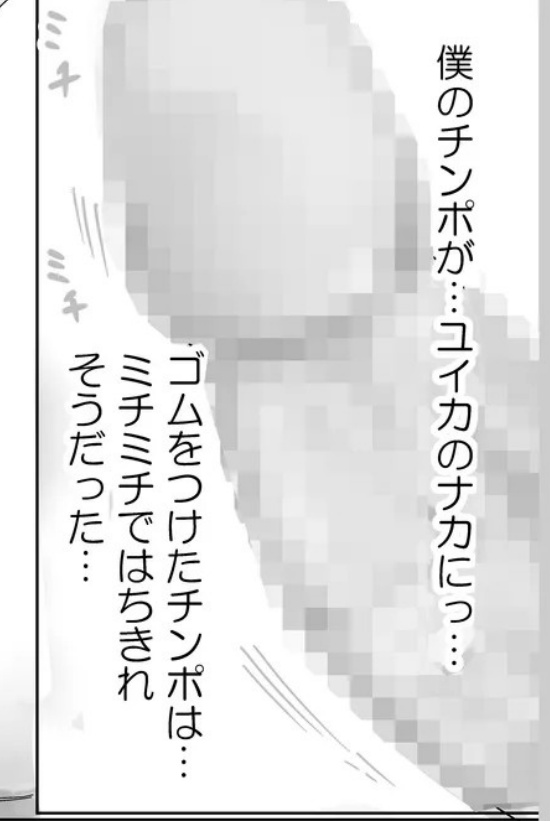
そっ…  
それは先生が  
呼ぶからっ…

違うだろ?  
満足できないんだろ?  
彼氏くんのおちんぽ  
なんかじゃ…

っ…



そしてその日…ついに…僕とユイカはセックスを…する…事…になった…



僕のチンポが…ユイカのナカにつ…  
ゴムをつけたチンポは…  
ミチミチではちきれ  
そうだった…



はぁ…

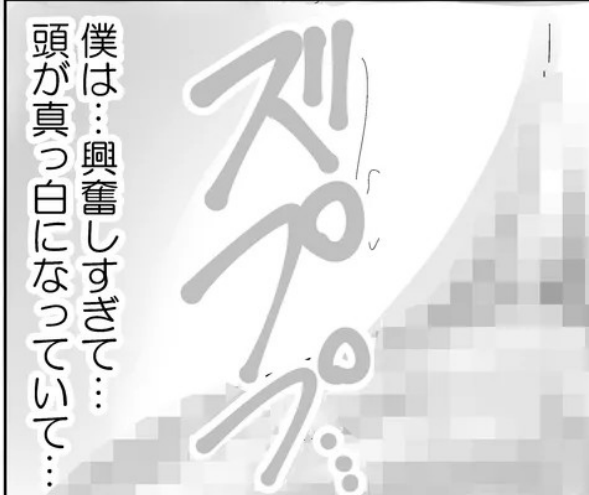
は…恥ずかしいから…  
早くしてほしいなっ…

はぁ…

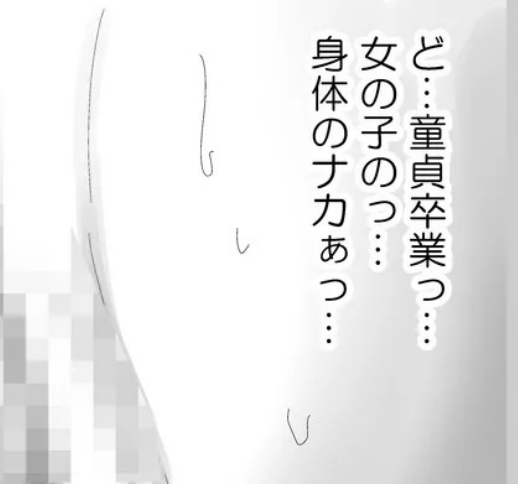
はぁ…



ユイカの声は聞こえてなかった…  
理性が保てなかった…  
そのせいか…最悪なこと…



僕は…興奮しすぎて…  
頭が真っ白になっていて…



ど…童貞卒業っ…  
女の子のっ…  
身体のナカあつ…

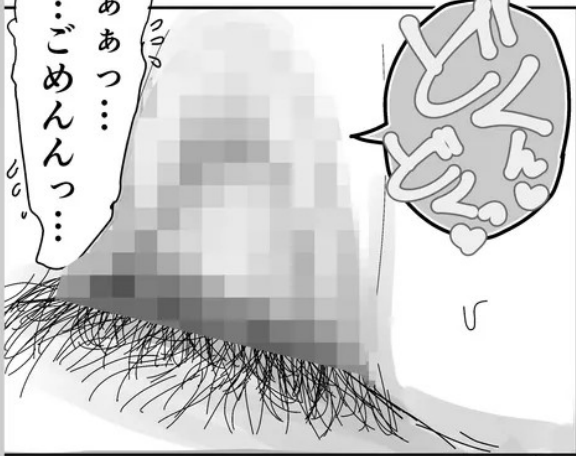
僕は…挿れたその瞬間に…

暴発してしまった…

いっしょ



あ…え…?  
で…出ちゃった…?



うわああっ…  
ごっ…ごめんっ…

せっかくの…  
はじめてのセックスなのに…

ごめんっ…  
ごめんっ…

二人の思い出なの…

僕は落ち込んだが…  
ユイカは慰めてくれた

こういうこともあるよ…!  
ほら!また大きくすれば  
大丈夫だって!…ね?

ユイカは僕の小さくなったチンポを握って…

また硬くするためにしごいてくれた…

ほーらっ♡  
すぐ元気になるよ♡

二人でいっぱい  
気持ちよくなるっ♡

優しい言葉をかけてくれて…

それなのに僕は…

ユイカの手の感触が気持ち良すぎたのか…

ひゃっ…

ハッ  
ハッ  
ハッ

まだ大きくなりきってないのに…  
うっかり射精してしまった…



ビクッ

うわああっ…  
ごっ…ごめんっ…

ビクッ

ぜ…全然大丈夫だよ!  
こういうこともあるって…!



僕の精子でドロドロになった  
手を見ながらユイカは…  
気にしないそぶりを  
してくれたが…  
少し苦笑いのようなだった

…で？  
彼氏くんのおチンポじゃ  
満足できなくて？  
このチンポが忘れられなくて？

ハメて欲しくて  
呼ばれる度にノコノコ来るんだろ？

ん？突いて  
欲しいんだろ？  
奥までトントン  
って(笑)

チンポぶち込まれて  
気持ち良くなりたかったら  
自分で股開いて  
お迎えの準備しろよ

っ…  
自分で開けだなんて…  
こんなっ…  
恥ずかしいっ…

ごちゃごちゃ  
うるせええな…  
その体勢のまま  
動くなよ

はっ…  
はい…

おあ

なんでユイカみたいなか  
わいい女の子が僕と付き合  
ってってくれるんだらうこと  
思うけど…

一緒に  
帰ろ！

二人で話したり…  
電話したり…  
ゲームしたりするときは  
ユイカはすごく楽しそうで…

すごい！  
やっぱりゲーム  
上手いねっ…！

だからユイカは…  
そもそもセックスとか…  
エッチなことは…  
全然気が進まないタイプ  
なんだらうなと思う…

だけど僕は…  
ユイカの身体に  
目をやると…  
どうしても性欲が抑えられなくて…

ユイカについつい  
やらせてほしいと  
お願いしてしまつて…

だけどいつも…  
挿入してすぐに…  
我慢できずに暴発してしまつて…

っ…!

やっぴゅっ

やっぴゅっ

それなのにユイカは…  
困った顔にしても…  
僕に優しく  
してくれて…

私は…  
一緒にいるだけで  
嬉しいから…

落ち込ま  
なくて  
いいから  
ね…!



だけどついにある日…  
僕たちは「ふつうのセックス」を  
することができた…

僕のチンポが我慢を  
覚えてくれて…

ズ  
ブ  
ブ

ふつうの…  
ちゃんとした  
セックスを…



ああっ…  
ユイカっ…はあっ…  
きっ…気持ちいいっ…?



ん…?  
う…うん!  
き…気持ち  
いいよ!

はあっ

入ってる…  
よね?

うん! ああっ…  
気持ちいい  
ユイカ…  
気持ちいいよおっ…





うああっ…気持ちいいっ…

ユイカあっ…どう?  
気持ちいいっ?

はあっ

ハア  
ハア

ハア

ハア

はあっ

ハア

ハア

ああっ

ハア

はあっ

ハア

あっ

あ〜んっ

あっ

あ〜ん

んっ

んっ

ユサ♡

ユサ♡

あ〜ん…

あ〜ん  
い〜♡

ハハハ♡

ハハハ♡

ハハハ♡

あっ

あ〜ん

あっ♡あっ♡  
ああっ♡

ハハハ♡

ハハハ♡

ハハハ♡

ハハハ♡

オラッ  
どうだよオラッ：  
ハァッ…

ハァッ

はあっ♡

ああっ♡  
あっ♡

んっ♡

んっ♡

あっ♡

ほあー♡

んっ♡

ああっ♡

ほあー♡

んっ♡

ほあー♡

彼氏のチンポと比べて  
どうだオラッ…ハァッ…

ハァッ

イクっ♡

イクッ♡

ほあー♡

ほあー♡

イっちやうっ♡♡

おん

おん

ん♡

ぢぢ♡

ぢぢ♡

ぢぢ♡

せっ…

せんせえっ…♡

イクっ♡イク♡  
イっちやいますうっ♡



ユイカあ…  
手を繋ぐのっ…  
最高に  
気持ちいいよお…  
はぁっ

うんっ…  
気持ちいいねっ

あっ  
あっ

ハァ  
ハァ  
ハァ  
ハァ

いっくうっっ

はぁっ

はぁっ

オラッ…  
イけっ

はぁっ  
せっ  
せんせえっ  
突いてっ♡

突いてくらさいっ♡

んっ♡  
イクううっ♡

あっ♡  
あっ♡

奥までっ…  
奥まで  
突いてっ…♡  
くらさいっ♡  
♡♡♡



二人で初めてのの…  
ちゃんとしたセックスが  
できた後…

僕は…あることを  
ユイカに告げた…

え…？  
しばらくエッチは  
控えたい…？

僕は実はあの日…オナ禁を続けた後に  
ユイカとのセックスに臨んでいたんだ…  
それが上手くいったから…

一旦ユイカとの  
身体の接触を控えれば…

これから二人で…  
満足のいくセックスが…  
できるようになるんじゃないか  
って思ったんだ…

ユイカの身体に触らずに…  
ユイカと過ごすのは…

きつと辛いけど…  
必死に耐えようと思ったんだ

ユイカはそれを聞いて…  
少し戸惑ったような  
表情を浮かべたけど…

僕の言いたいことを  
理解してくれたみたいだった…

ユイカだって…  
我慢することになると思う…

それなのに僕に  
合わせてくれて…  
ユイカは本当にいい彼女だ…

何？最近は彼氏とはエッチしない  
ことに決めたんだって？



そっ…  
その話はっ…  
しないで  
くださいっ…



じゃあ何？その間は  
オレのチンポ  
専用ってこと？

ったく…  
どつちが本当の彼氏だよ…

まあいいわ  
オレがセックスを身体に  
教え込ませてやるよ

チンポの形…  
突くスピード…  
肌が擦れあう感触…  
全部をオレ基準に  
して…

誰とセックスしようが  
オレのこと思い出させてやるよ



ははっ  
聞くまでも  
ねーか

はあ

あれ？何？  
イっちゃってる？

あーん♡  
ん♡

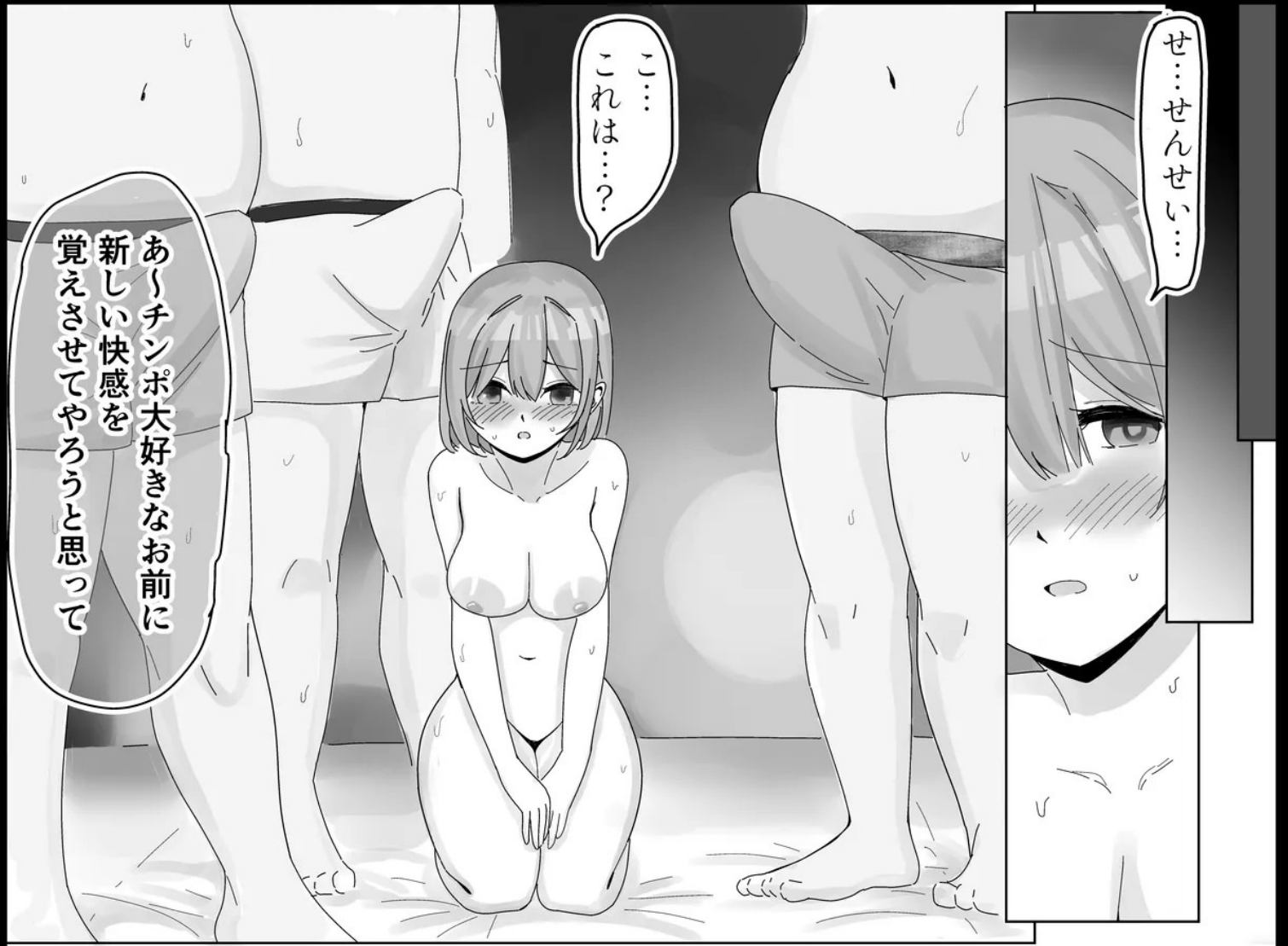
はあー…

か…かく…  
ご…？

おいお前  
次きたとき  
覚悟しとけよ

あゝこんな上玉と  
お粗末チンポだとしても  
セックスしてる野郎がいると  
思うとムカついてきたな…

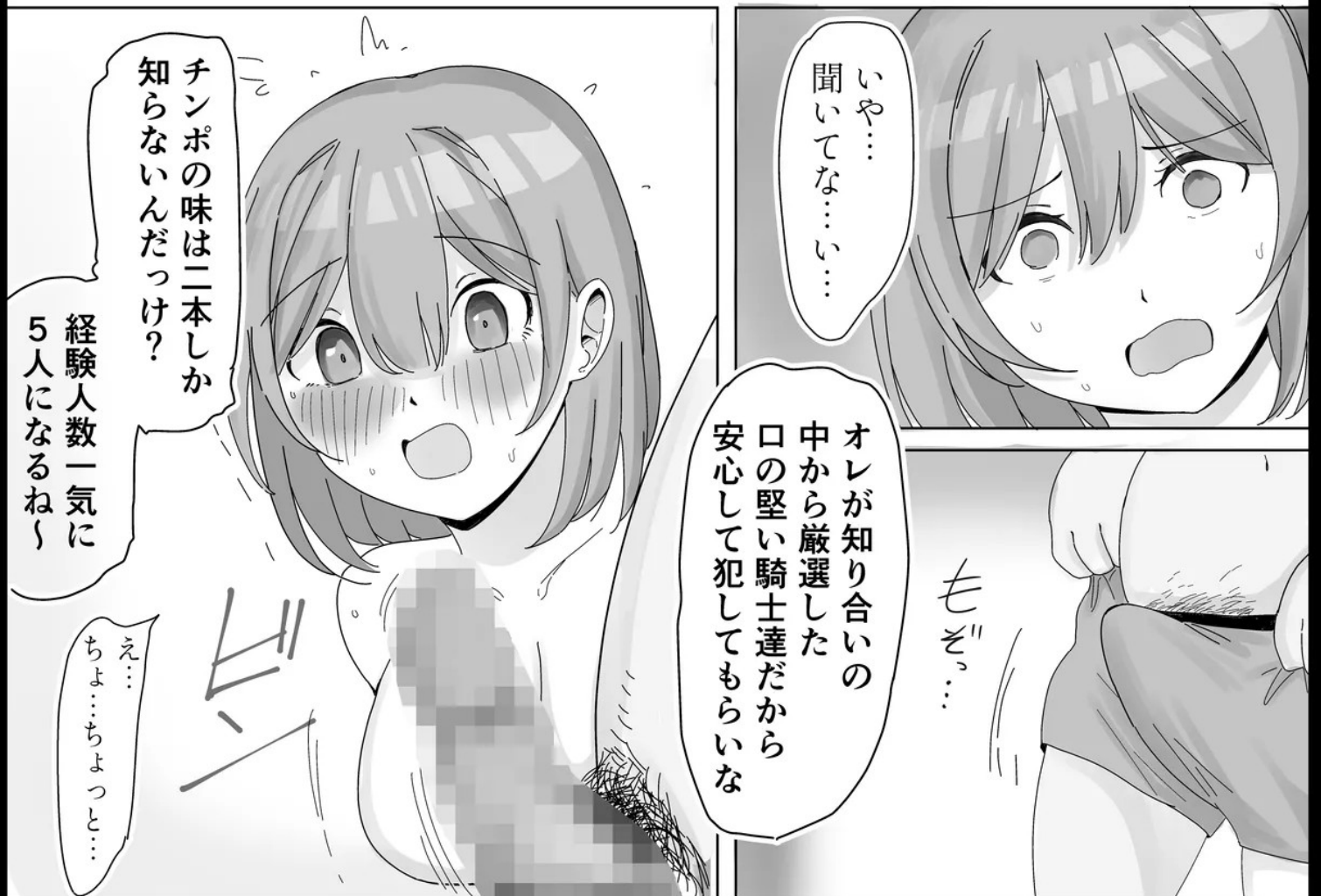
ハア…  
ハア…



せ…せんせい…

こ…  
これは…?

あ、チンポ大好きなお前に  
新しい快感を  
覚えさせてやろうと思って



いや…  
聞いてな…い…

オレが知り合いの  
中から厳選した  
口の堅い騎士達だから  
安心して犯してもらいな

チンポの味は二本しか  
知らないんだっけ?

経験人数一気に  
5人になるね

え…  
ちよ…ちよつと…

もぞ…

ほらまず両手で  
握って…  
しごいてみな

いや…  
え…?

うおっ  
手慣れてんね〜  
キミい!

あ〜若い女の子の  
手はやっぱり艶が違うわ…

あ…  
じゃあ私は  
空いている  
お口に…  
失礼します…

む  
にゅ…♡

うほあっ…!!  
自分から頭動かして…  
舌の動きまで…  
ドスケベ可きっ…

ほろほろ♡

ほろほろ♡

ぐゅほ♡

ぐゅほ♡

ほろほろ♡

ほろほろ♡

ちよっと：  
お胸の方も  
お借りして…

くあく…!!  
もっちもち…!!  
張りが違う!  
格別だ…!!

ずば

おん  
おん

あく…気持ちいい  
これはチンポを挟むための  
おっぱいだ…

このぐちゅぐちゅの  
下のお口の方も…  
失礼させて  
いただいて  
よろしいですかね…?

じゅっ…  
順番でや!

ちゅ…

いゅほ  
いゅほ  
いゅほ

ハッ  
ハッ

いゅほ

うほおっ…!  
これはっ…  
名器じゃない  
ですか!

な?  
言っただろ?

動くたびに  
吸い付いてきて…

ちよつと先生  
こんな名器を  
普段から堪能  
してたんですかあ!?

ちよつとあなた…

さつきから  
ずっと口を  
独り占めしてますね?

あゝもう  
かれこれ20分しゃぶって  
もらってますわ…

じゅぽっ♡  
ちゅぽっ♡

ぐちゅ♡

ぽん♡

ぽん♡

ちゅ♡

とちゅ♡

ユイカとの日々は…  
何事もなく…順調に…  
変わりなく幸せに続いた…

ユイカはいつも通りの  
笑顔を見せてくれて…

ただひとつ違うのは…

僕がユイカとセックスしたい気持ちを  
必死で抑えて…  
はち切れそうなチンポを…  
ずっと抱えているということ…

さ…ユイカさん  
今日もお手合わせ  
願いますぞ…

またあの膣の感触を  
堪能できると思ったら…  
昨日の晩から勃ちっぱなし  
だよお…

ハア…

ハア…

はあく脇コキ♡  
張りのある若いお肌は  
全部味わつとかなないとねっ…

んっ♡

んっ…

ぐぽ

はあく…

んっ…

ぐぽ

はあく…

んっ♡



とある帰宅途中…  
急に大雨に打たれてしまった…  
僕は一時的に…  
ユイカの自宅に駆け込んだ

そこで躊躇なく濡れたシャツを脱いで  
下着姿になったユイカに…僕はギョツとした

「ユイカは『どっかしたの?』という顔で…」



こっちの気も  
知らないで…



僕がどれだけその身体と  
エッチしたいか…

本当なら  
いくらでも  
その身体を好きに  
できるのに…  
いや…我慢だ…  
その時が来るまで…



はあく…  
やっぱり若い女子に  
無責任にぶっかけるのが  
一番気持ちいいですな

最高ですよ  
ホント…

極上のオナペを  
ありがとうございます  
先生…

おい  
デカパイ

でかっ…!?

なんですか  
その呼び方…!?  
やめてください  
先生っ…!!

あ?おまえ  
デカパイ  
だろうが

6人目の  
デカパイ  
だから6号な

で 7号ちゃん  
捕まえたから  
自慢しとくわ

ほれ新入生のな  
チア部に  
入るつもりだっけ?

あ…  
は…はい

ほ  
ぢゅ…

じゃオレの射精の  
応援もよろしくな

ほ  
ぢゅ…

おい6号  
オレがこいつらの  
膣ほぐしてる間  
下の方しゃぶっとけよ

えっ!?そんな  
急にっ…

嫌なら今日の  
子宮ガン突きは  
ナシだけど?

っ…はっ…  
はいっ…



あゝ極楽♡  
学園中の上玉を...

自分専用  
性処理マシーンに  
するの楽しすぎっ

ピクンっ...  
んっ...

ああ...

はあ...

ピクンっ

はあ...

んんっ...

んっ...

ピクンっ

はあ...

んんっ♡  
んんっ♡  
んんっ♡

んんっ♡

んんっ♡

んんっ♡  
んんっ♡  
んんっ♡

おまえらホント  
ドスケベだよなあ...

こんな扱いされても...  
オレのチンポから  
離れられないって...

あゝそのストロークいいね  
6号おまえ  
フェラ上手くなったな？



そして…その日は来た  
僕とユイカがもう一度…  
セックスをする日…

そのときの僕はもう…  
ユイカを満足させる  
自信があった…

いまの僕なら  
うまくいくという…  
確信が持てる日が  
来た…

あく出た出た…  
7号ちゃん  
具合いいじゃん

数週間ぶりに見た…  
一糸まとわなない  
ユイカの姿…

なんだか以前より  
エロさが増したような…

もしかしたらこの期間…  
内に留めた性欲が…  
身体をより魅力的に  
させたのかもしれない…

はあ…

はあ…

それじゃあ  
行儀よくしてた  
6号ちゃんにも…  
おチンポハメて  
あげようかな…  
おい  
どうして欲しい？  
は…  
ハメて  
ほしいです…





ナカッ…  
入れてっ…  
いいっ…?

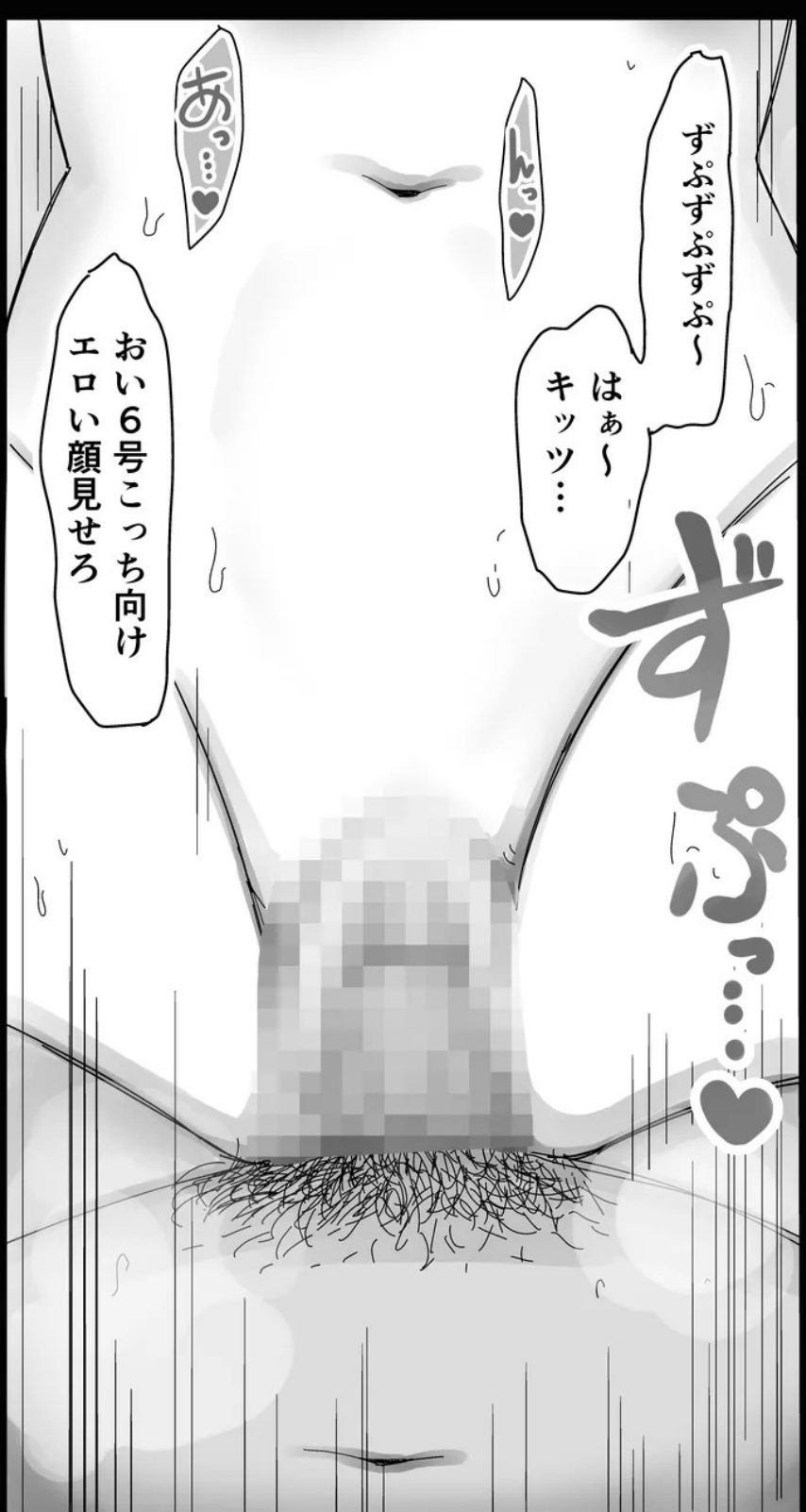
ほみ

ほみ

ほみ

ハアッ…  
ハアッ…

はあっ…  
ユイカッ…



あ…♡

ん♡

ずぶずぶずぶずぶ

はあ…  
キツツ…

おい6号こっち向け  
エロい顔見せろ

ずぶずぶ…♡



うんっ…!!

一緒に  
気持ち良  
く  
なるっ…!!

ほみ…

ニクッ

ユイカの身体のナカに入っ  
ピストンを始めたとき…

僕は…感じた

はあっ…  
ユイカっ…気持ちいい？

いつもとは違う…  
これがセックス…

あっ

んっ

ゆっ♡

ハッ

ゆっ♡

ハッ  
マッ…

ニっ♡

やった…ついに  
ユイカを満足させる  
ことができた…

あ…  
あ…  
あ…

ゆっ♡

ニっ♡

ニっ♡



オマエはこれから…  
このチンポの感触を  
思い出すんだよ…

オラッ

誰とセックスしようが…  
オレのチンポを身体が  
覚えてるんだよ…



あああつ…  
すごい…今までと  
ユイカの反応が違う…

顔が真っ赤になって…  
呼吸が激しい…  
興奮…してるんだ…!!



せつ…

せんつ…

え？  
ユイカ…  
何…？

ほあ…

ほあ…

んっ…

んん…？  
何も…

先生つっ…

あっ♡

あっ♡

ほあ♡

あ♡

あ♡

ほあ♡

はあっ♡

はあっ♡

せんせえっ♡

せんせええっ♡

オラッ

出すぞッ

中に出すぞッ

はあっ…  
出たあっ…





先生っ…  
先生っ…

先生の  
おチンポっ…

んっ…

この感触っっ…♡

はぁ

はぁ

はぁ

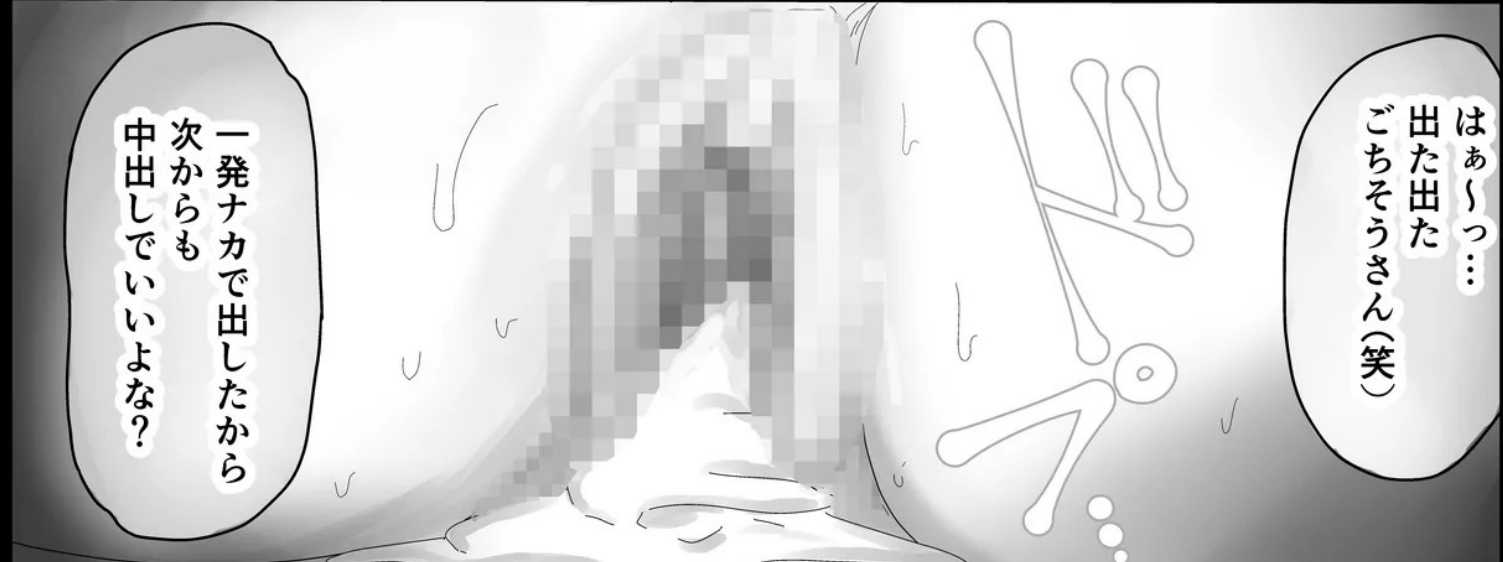
ナカでビクビクする  
感触っ…♡♡

はぁ

はぁ

くあぁっ…  
出たあ…  
ゴム越しでも  
ユイカのナカ伝わる  
よおっ…

先生のおチンポみたいっ…  
かな…??



はぁっ…  
出た出た  
ごちそうさん(笑)

一発ナカで出したから  
次からも  
中出しでいいよな?

遂に…  
僕たちはセックス  
することができた…

二人の気持ち  
が重なった…  
セックス…

我慢して  
よかった…  
僕の心は  
満ち足りた…

いいか？  
このチンポの味を  
身体に叩き込んで  
おけよ

これからオマエは  
どこで誰とセックス  
しようか

オレとのセックス  
を思い出す

オレのチンポと  
比べるようになる

わかったな？

はい…

せん…

ユイカの顔は  
紅潮していて…  
体温も高くなっていた

これまで見たことない  
表情だった

やった…  
僕たちは  
通じ合えたんだ…

はあ…

はあ…

はあ♡

はあ♡  
ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

はあ♡  
せ…